

第五十二回帝國議會 衆議院

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

付託議案

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海拓殖鐵道補助ニ關スル件)(佐々木平次郎君外十五名提出)

會議

昭和二年三月七日(月曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田 米藏君

理事 關矢 孫一君

理事 工藤十三雄君

理事 大園榮三郎君

近藤重三郎君 松井 郡治君

松田 三德君 小島 證作君

工藤 鐵男君 石塚 三郎君

平井光三郎君 手代木隆吉君

岡本實太郎君 深井 功君

若宮 貞夫君 熊谷 巖君

植原悅二郎君 石井 三郎君

廣瀬 爲久君 志賀和多利君

栗林 五朔君 兼田 秀雄君

高鳥 順作君 浦野 謙朗君

堤 清六君

二月二十八日委員大竹謙治君三月五日 隅田豐吉君七日今井健彦君、大津淳一郎君、山本厚三君執レモ辭任ニ付其ノ補闕トシテ二月二十八日植原悅二郎君、三月五日廣瀬爲久君、七日志賀和多利君、近藤重三郎君、松田三德君ヲ議長ニ於テ選定セリ

二月二十三日理事金澤安之助君解任ニ

付其ノ補闕トシテ三月七日關矢孫一君當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣子爵 井上匡四郎君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官 佐竹 三吾君

鐵道參與官 古屋 慶隆君

鐵道省建設局長男爵 中村 謙一君

鐵道省工務局長 後藤 佐彦君

鐵道省經理局長 筧 正太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

○前田委員長 前回ニ引續キ開會致シマス、理事ノ金澤君ガ委員ヲ辭シタ、隨テ理事ヲ能メタコトニナリマスカラ其補缺ヲシナケレバナリマセヌガ、指名シテ差支アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○前田委員長 ソレデハ關矢君ヲ理事ニ大體ニ於テ質問ハ打切ニナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、極ク簡單ニ質問ヲ此際致シタイト云フ申込ガ

アリマスカラ、順序ニ依テ許シマス、高鳥君

○高鳥委員 前回デ大體質問ハ終了致シマシタガ、私ノ政府ニ質問セントスル所ヲ極メテ簡單ニ一、二伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ縣營鐵道モ之ヲ國有鐵道ニ移スコトハ法規上差支ナイカド

ウカ、斯ウ云フ一點ト、沖繩地方ニ於テ線路調査上鐵道網ニ入レテ豫定線ニ編入スルコト、是モ差支ナイカ、此二點ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス

○井上國務大臣 高鳥君ニ御答申上ゲマス、縣有鐵道ヲ買收シテ國有鐵道ト致シマスコトハ、法規上何モ差支ヘルコトハナイト考ヘマス、沖繩ニ於キマシテハ國有鐵道ノ豫定線ニ對スル鐵道網ガ決定サレテ居ラナイノデアリマス

ガ、是モ鐵道省ト致シマシテハ將來ニ於テ十分考慮致ス考ヲ持ッテ居リマス

○堤委員 私ハ越後鐵道ノ免許線ニナツテ居リマスル、即チ現在ノ終點ニナツテ居リマス越後長澤、森町間ノ區域ハ、越後鐵道ノ建設ニ當リマシテモ、其地方住民ハ應テ自己ノ地方ノ開發ニナルト云フ意味ヲ以テ大變贊成ニ努力シタノデゴザイマス、尙ホ又此沿線ハ物資ノ關係、或ハ包容シテ居リマス人口ノ關

係カラ申シマシテモ、相當有要ナ鐵道デアルノデゴザイマス、故ニ越後鐵道ハ此線ヲ以テ收益ノ目的ヲ圖ル爲ニ免許ヲ得テ居ルヤウナ次第デアリマスガ、之ヲ買收ノ結果此延長ガ出來ナイト云フヤウナコトニナリマス、地方住民ト致シテハ、此越後鐵道建設ニ對シテ努力ヲ拂ッタコトガ無駄ニナリ、又地方開發ト致シテハ、交通或ハ其他ノ便利ニ付テ非常ニ不利益ヲ被ルコトニナリマス、地方住民トシテハ甚ダ苦痛ナ次第デアリマスガ、是等ノ線ニ付テ、未ダ政府カラ見マスレバ、鐵道網ノ中ニハ入ッテ居リマセヌケレドモ、是等ノ線ヲ成ベク速ニ御調査下サツテ、免許線ヲ豫定線ノ中ニ速ニ入レテ戴クヤウニ御願ヒシタイノデアリマスガ、此件ニ付テ政府ノ御意嚮ヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ、福島縣ト新潟縣ノ聯絡ヲ取リマス爲ニ、國有鐵道豫定線ノ只見驛マデ延長スル豫定デアリマスガ、是等ノ施設ニ付テモ、尙ホ進ンデ御調査ヲ御願ヒシタイ希望ヲ持ッテ居リマスガ、政府ノ御意嚮ハ如何ナモノデゴザイマセウカ、御伺ヒ致シタイノデアリマス

○井上國務大臣 堤君ニ御答申上ゲマスガ、免許線ニ付キマシテハ、免許線デ

第五類第六號

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

第七回

昭和二年三月七日

アルカラ直ぐ鐵道ヲ建設スルコトガ出來ナイコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアアルノデアリマス、而シテ一方ニ於キマシテ國ノ現在定メテアリマスル所ノ所謂鐵道網ハ、必ズシモ完全ナルモノデナイコトハ、既ニ度々申上ゲタコトデアアルノデアリマス、越後鐵道ガ免許線ヲ持ッテ居ラレマスコト云フコトモ、其免許線ノアリマス所ノ地方ノ經濟狀態ガ相當有利ナモノガアリマスル爲ニ、其地域ニ向ッテ免許線ヲ持ッテ居ラレルコトト考ヘルノデアリマスカラ、政府ニ於キマシテモ十分考慮ヲ拂ヒマシテ、調査ノ結果其地方ガ國ノ豫定線トシテ鐵道網ノ中ニ編入スベキ必要アリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、十分調査ヲ致ス考デアリマス、又第二ノ御質問ノ點ニ付キマシテモ、同様ノ意味ヲ御答申上ゲタイト考ヘマス

○前田委員長 サウスルト質問ハ是デナイヤウデアリマスカラ、討論ニ入ルノデアリマスガ、先ヅ私設鐵道買収法ノ討論、採決ヲ濟マシ、次デ敷設法ノ討論採決ヲ致シタイト思ヒマス、私設鐵道買収法ノ討論ニ入りマス、若宮君

○若宮委員 吾々ハ遺憾ナガラ修正ノ意見ヲ茲ニ申述ベントスルノデアリマス、即チ吾々ノ修正意見ト云ヒマスノハ、本案中越後鐵道株式會社トアルヲ削除セントスル修正意見デアリマス、其理由ハ元來本案全部ニ互テ今日ノ財政ノ狀況ニ顧ミテ、又社會ノ實狀ニ照シ

テ見テ、何レモ不急ナリ、即チ急ナラズトスル論ガ世間ニハ多イノデアリマスケレドモ、越後鐵道ヲ除ク其外ノ諸線路ニ付テハ、或ハ政府ニ於テ昭和二年度ヨリ直ニ改築改良ニ著手セラシムル、必要アリトカ、又ハ既ニ是等ノ私設鐵道ニ於テ鐵道省ガ列車ノ運轉ヲヤテ居ラレルト云フ、是等ノ事實ニ照シテ見テ、吾々ハ其外ノ鐵道ニ付テハ贊成スルコトヲ憚ラヌノデアリマスガ、單リ越後鐵道ニ付キマシテハ、鐵道ノ聯絡ノ上カラ見テモ、之ヲ昭和二年度ニ於テ取急イデ買収シナケレバナラヌト云フ所ノ理由ガ極メテ薄弱デアルト言フカ、或ハ極言致セバ絶無デアルト申シテモ宜シイト思フ、殊ニ又我國ノ公債政策ト云フコトニ考ヘ及ビマス、公債政策ニ付テハ朝野共ニ種々ナル議論ガアツテ、國家ノ爲ニ最モ憂ヘテ居ル所ノ問題デアアルニ拘ラズ、昭和二年度ニ於テ種々ナル名義ノ下ニ、政府ガ發行致ス所ノ公債ハ約五億ニモ達セントスル狀況デアアル、此實狀ニ鑑ミテ見テモ、縱令交付公債ト云ヘ、斯ル急ヲ要セザル事ニ向ッテ公債ヲ交付シ、公債發行ノ額ヲ増スト云フコトハ、吾々國民ト致シテハ大ニ考慮致サナケレバナラス、是等ノ理由ヲ以テ吾々ハ遺憾ナガラ茲ニ修正意見ヲ提出スル者デアリマス、孰レ此修正ニ關スル理由ハ本會議ニ於テ同志ノ者ヨリ詳細申述ベラレルト思ヒマスカラ、理由ハ是位ナ程度ニ於テ

省略シテ置キマス

○工藤(鐵)委員 私ハ吾々同志ヲ代表致シマシテ本案ハ全部可決、即チ越後鐵道ヲ除クト云フ若宮君ノ意見ニハ反對スル者デアリマス、詳細ハ孰レ本會議ニ於テ論及致スデアリマセウガ、私共ノ之ニ贊成スル所以ハ長イ間吾々ノ尊敬スル政友會ハ、交通政策ハ出來得ルダケ早く完備スルコト、又之ヲ完備スル上ニ於テハ公債ヲ募集スルコトモ敢テ辭シナイ、此政策ハ時トシテハ其程度ニ於テ議論ハアリマシタケレドモ、大體ニ於テ此政策ハ我國ニ於テハ適切ナモノト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、越後鐵道ノ場合ヲ見マシテモ、裏日本ノ方面一帶ハ實ニ文化ノ進マナイ所デ、而モ大變天惠ハ少ク、地勢上カラ見マシテモ、出來ルダケ早く鐵道交通ノ聯絡ヲ完備スルコト云フコトガ當然ト思フ、故ニ交通ノ完備ノ點ヨリ見マシテモ、日本海ヲ控ヘテ亞細亞ノ大陸ニ雄飛セントスル我國民ノ發展ヨリ考ヘマシテモ、アノ鐵道ヲ早く完成スルコト云フコトハ必要デアアル、斯様ナ點ヨリ目條項ヲ削除スルコト云フコトニハ反對デアリマス、水戸鐵道始メ、他ノ鐵道ト共ニ原案通り買収セラル、ト云フコトヲ最モ適當ト認メマシテ、私ハ政府ノ原案ヲ支持スル者デアリマス

○前田委員長 モウ御發言ガナケレバ採決致シマス、今若宮君ノ述ベラレタ

越後鐵道ヲ削除スル修正案ニ贊成ノ御方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔贊成者舉手〕

○前田委員長 少數デアリマス、政府原案ニ付テ贊成ノ御方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔贊成者舉手〕

○前田委員長 多數デアリマス、政府原案ハ可決セラレマシタ、次ハ鐵道法中改正法律案ノ討論ニ入りマス

○工藤(鐵)委員 私共ハ豫定通り全部原案ニ贊成ヲ致シマス

○若宮委員 本案ニ付テ少シク御許シヲ得テ申述ベタイコトガアルノデアリマス、先ヅ以テ便宜ノ爲ニ結論カラ申述ベマスガ、本案デ鐵道ノ豫定線ノ中ニ加ヘヤウトシテ居ル各線路ノ一々ニ付テ研究ヲ致シテ見マスト、絶對論トシテハ必ズシモ無益ナリト云フコトハ出來ナイ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、有害デアルトハ考ヘルコトハ出來ナイ、故ニ吾々ハ結論トシテハ本案ニ贊成スル者デアリマス、詰リ之ヲ否認スル者デハナイノデアリマス、由來我國ニ於キマシテハ國土ノ然ラシムル所カ、各地方共ニ鐵道ノ建設ヲ要望シテ居ルコトガ甚ダ急デアリマス、ソレガ爲ニハ極メテ激烈ナル運動ヲモ惹起シ、又是ガ爲ニハ延イテ極メテ醜怪ナル風聞サヘモ生ジテ居ルノガ現今ノ事實デアアル、ソレアルガ故ニ政府當局ニ於カレテハ、斯様ナ民心ヲ刺激シ易イ問題ニ付テハ、

常ニ深キ注意ヲ拂ヒ、其施設ヲ爲スニ付テハ、前後緩急ヲ誤マラヌヤウニシテ、國民ヲシテ毫モ誤解ナカラシムルヤウニ、十分ナ基礎ト理由トヲ示シテ、國民ニ臨ムコトガ當然ノ用意デナケレバナリマセヌ、然ルニ政府當局デハ吾ハ恐ラク是ハ惡意ニ出ルモノデハナイト信ジテ居リマスケレドモ、右申ス所ノ當然ノ用意ヲ缺イテ居ルヤウナ嫌ヒガアルノデハナイカ、元來鐵道敷設法ヲ改正シテ、之ヲ増減變更シヤウト云フ計畫ハ、私ノ記憶スル所ニ依リマスト、昨午下諏訪、鹽尻間ノ新線ヲ追加セラレントシタ、是ガ當初ノ目論見デアッタカノヤウニ私ハ記憶致シテ居ル、若シ此記憶ニ誤リガナイトスルナラバ、昨年ノハ是ハ否決ヲサレタノデアリマスタガ故ニ、今回將ニ成立セントスル所ノ此六線路ノ追加ト云フコトガ、敷設法制定以來ノ初メテノ出來事デアラウト思フノデアリマス、固ヨリ現行敷設法ニ定メタル所ノ豫定線ナルモノガ、私ノ考ヘル所ニ依リマシテモ、是ガ今日ノ實狀ニ照シテ見テ萬全ナルモノトハ私ハ考ヘテ居ラヌノデアアル、ソレアルガ故ニ追追人文ガ發達シ、又經濟ノ變化ニ伴フテ、之ヲ追加補充ヲ致サナケレバナラヌト云フコトノアルコトハ、寧ロ當然デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアアル、併ナガラ現行法ニ定メテナイ、此豫定線ノ中ニ掲ゲテナイ、各地方ニ於テ何トカシテ豫定線ノ中ニ追加セラレ、敷設

セラレル恩惠ニ浴シタイト願フテ居ルモノハ、決シテ少クナイノデアアル、吾ガ承知シテ居ルダケデモ澤山アル、勿論政府當局ニ於テハ、十分其要望ノアルコトハ承知シテ居ラレル筈デアアル、サウシテ見レバ政府ガ民意ヲ容レテ、其一部分即チ今回ノ如キモノハ六線路デアアルガ、此一部分ナル所ノ線ヲ追加補充ヲ致スニ當ラテハ、他ノ澤山アル所ノ要望ニ先ダツテ、此六線ヲ優先的ニ追加スルト云フコトニ付テハ、國民ガ一般ニ満足シ得ル程度ノ、少クトモ國民ノ代表者タル立場ニ居ル吾ミガ、諒承シ得ベキ程度ニ於テノ適確ナル理據ヲ示スベキガ當然デアアルト私共ハ確信ヲスルノデアリマス、ソコデ委員會ニ於テ諸君モ御承知ノ通りニ、吾ミハ何ガ故ニ本案ノ如クニ六線路ノミヲ優先的ニ追加スルノデアアルカ、他ニ澤山ノ希望シテ居ル所ノ線路ガアルノダガ、ソレ等トノ優劣比較ヲ政府ハ恐ラクハ調査シテ居ラレルニ相違ナイ、又サウナケレバナラヌ筋合デアアルガ故ニ、他ノ線路トノ優劣比較ノ調査ヲ示サルベシト云フコトヲ、吾ミガ要求シテ居ルニモ拘ラズ、不幸ニシテ當局ハ之ヲ説明シ能ハズ、吾ミハ其材料ヲ入手スルコトガ出來ナカッタノデアアル、却テ政府當局ノ御説明ニ依ルト、只今ハ是等ノ諸線路ニ付テノ調査ガ進行中デアツテ、未ダ調査ガ終了セズトノ答辯ヲ受ケタニ止マルノデアリマス、又他ノ特別委員ノ

質疑ニ對シマシテ、斯ウ云フコトヲ政府當局ハ申サレテ居ル、將來ノ事ハ吾吾ノ知フタコトデナイト云フヤウナ意味ヲ發言セラレテ居ルノデアアルガ、惟フニ是ハ不用意ノ御發言デアッタノデアラウト存ズルノデアリマス、私等ハ此言葉ヲ決シテ咎メル意味デハアリマセヌケレドモ、少クトモ政府當局ガ現在ニ於テハ將來ノ事ハ分ラヌト申サレタト云フコトハ、偶當局ガ此鐵道ト云フ大切ナル問題ニ付テ、一定ノ經綸ヲ缺イテ居ラレルノデハナカラウカト云フ憾ミヲ吾ミノ念頭ニ上サザルヲ得ヌノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマス、基礎的ノ理據ニ基カズシテ、唯其日其日ノ思ヒ付キト言フカ、出來心ト言フカ、サウ云フ心持デ此重大ナル問題ヲ處理セントスルニアラズヤト疑ハレルコトガナイデモナイノデアアル、斯様ナコトデハ、吾ミトシテハ當局ノ善意デアアルコトハ少シモ疑ヒマセヌケレドモ、國民ノ間ニハ或ハ何等カ運動ノ結果ニ依テ妙ナ關係ガアルノデハアルマイカ、又運動等ニ依テハドウデモナルノデアラウト云フヤウナ、從來アル所ノ此社會ノ惡弊ト云フモノヲ却テ之ガ爲ニ助長スルノ虞ガナイトモ限ラナイト云フコトヲ私共ハ竊ニ憂フル者デアリマス、私共ハ先ヅ冒頭ニ申述ベマシタ通りニ、本案ヲ以テ追加セントセラレル所ノ諸線路ト云フモノハ、之ヲ絕對論トシテ考ヘテ見ルト云フト無益デアアリマセ

ヌ、又言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、有害デアルト申スコトハ出來マセヌカラ、吾ミハ本案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマスケレドモ、只今申述ベマシタ通りニ、今後ノ鐵道ノ方針ト云フコトニ付テ考ヘ、又愈實際ノ敷設ニ著手セントスル場合ニ考ヘ及ンデ見マス、其前後緩急ニ付テノ誤ヲ無カラシムルト云フコトニ付テハ、吾ミハ深キ注意ヲ加ヘナケレバナラヌト確信スルノデアリマスガ故ニ、茲ニ吾ミハ一ツノ警告ヲ附シテ本案ニ贊成ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス、其警告ト申スノハ「鐵道豫定線ノ選定竝ニ建設ノ順序等ニ付キ、政府當局ノ措置遺憾ノ廉尠カラス、現行鐵道敷設法ニ定ムル豫定線ハ何レモ之カ速成ヲ要望セルニ拘ラス、其大部分ハ未タ建設ニ著セラレサル實況ニ鑑ミ、政府ハ宜シク敷設法ノ變更ニ付テハ周到ナル調査ヲ遂ケ、建設ニ付テハ前後緩急ヲ誤ラサルヤウ、深く注意ヲ加フヘシ、右警告ス」此警告ヲ附シテ吾ミハ本案ニ贊成セントスル者デアリマス

○岡本委員 私ハ本案ニ付キマシテハ政府原案ニ對シテ其儘贊成セントスル者デアリマス、只今委員若宮君カラノ御説明ニ依リマシテモ、政府ノ原案ハ無益トハ認メナイ、又有害トモ認メナイ、必要ナモノデアリ、利益ノアルモノデアラウカラシテ、結論ニ於テハ全部贊成デアアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、

此結論ハ全ク吾ミト同ジデアリマスカラ、私モ大ニ満足シテ贊成スル者デアリマス、結論ニ於テハ全ク同ジデアリマスガ、其道程、即チ道行ニ於キマシテ警告附ノ贊成デアッタヤウデアアル、此警告ニ對シテ私ハ反對セントスル者デアリマス、段々御説明ガアリマシタ中ニ於テ、即チ此度選バレル此六線路ハ必要デハアルケレドモ、前後緩急ヲ少シク誤ッテ居ルモノデハアルマイカ、或ハ既ニ定ッテ居ル線路ガ幾多アル、各地方共之ヲ一日モ早ク著手セラレンコトヲ望ンデ居ルノニ拘ラズ、更ニ本線ヲ附加フルト云フガ如キハ、其翹望致シテ居ル地方ニ對シテ、俗ニ言フ力落シト申シマス如キコトニモナラウ、斯ウ云フヤウナ點ヲ申述ベラレタヤウデアリマス、ソコデ既ニ本線ガ必要デアルト云フト、又既ニ定ッテ居ル所ノ多クノ線ガアリマスガ、此定ッテ居ルモノガ絕對完全ナモノデモナイ、又定メタ當時ニ於テ完全ト致シマシテモ、其後ニ至ッテ産業ノ開發、或ハ經濟ノ發達等、人文ガ漸次進歩スルニ及ンデ、社會ノ狀況ノ變遷ト共ニ其不完全ヲ認ムルガ故ニ、之ヲ漸次追加シテ行クト云フコトガ必要デアアルコトハ當然デアリマス、而シテ既ニ定ッテ居ル線路モ、大正五年頃ノ状態ヲ基礎トシテ定ッテ居ルト承知致シテ居リマス、サレバ既ニ二十年餘リモ過ギマシタ今日デアリマスシ、各地方ニ依リマシテ經濟交通ノ變遷ノアル

コトモ當然デアリマスルガ故ニ、親シク各地方ニ涉ッテ調査ヲサレタ結果、今度ニ於ケル追加ヲスルト云フコトハ當然ナコトデアリマス、尙ホ警告ノ理由トシテ御説明ニナリマシタ中ニハ、多クノモノヲ調ベテ其調ベタモノ全部ヲ提供シ、サウシテ其材料ニ依テ優劣ヲ親シク比較對照シテ判斷ヲシタ上デナケレバ決定ガ出來ナイモノデアアル、然ルニ其材料ヲ全部提供セザルガ故ニ、内容ニ於テ何カアルノデハナイカト云フヤウナ疑ヒヲ懷クト云フ如キ趣旨デ、此警告ヲ出サレタヤウニ承リマシタガ、吾ミノ見ル所デハ、既ニ政府當局ノ御説明ニ依リマシテモ、調査ハ尙ホ今後モ數年繼續スルモノデアアッテ、全部ノ調査ヲ終了シタ上デナケレバ、之ニ一指モ觸レルコトハ出來ヌト云フ程、此法律ハ絕對的ニ窮窟ナモノデモアルマイ、既ニ調査ヲ致シテ其調査シタモノ、中デ必要デアリ、特ニ附加ヘル要ノ逼ッテ居ルト云フモノアリマスカラ、是ハ私當然ナコトデアラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ今現在アル所謂線路網ニ既ニ定ッテ居ル線路ヲ一層完壁ナルモノニシヤウトシテ、之ヲ追完シヤウト云フノデアアルカラシテ、洵ニ適當ナル法案ナリト謂ハザルヲ得ナイ、ノミナラズ既ニ定ッテ居ルモノニ依テ別ニ何等既得權ヲ害スルモノデモナイ、又愈々工事ニ著手スルト云フ時ニ當リマシテハ、本線ヲ先

ヅ先ニスルト云フガ如キハ全クナイコトデアリ、唯定ッテ居ルモノハ同ジヤウナ地位ニ置カレルト云フノデアアルカラシテ、何等既得ノ利益ヲ害スルモノデモナケレバ、今迄ノ人ノ期待ヲ裏切ララウト思フ、隨ヒマシテ今回ノ追加線ト云フモノハ、從來定ッテ居ルモノト比較致シマシテモ、是ト同等以上カ、或ハ其建設ニ當リマシテモ、同ジヤウナ待遇ヲシテ然ルベキモノデアラウ、斯ウ云フノデアリマスルカラシテ、何等此點ハ差支ナイコトデアラウト思フ、更ニ或ハ今若宮君ガ御述ニナラレマシタヤウナ、未ダ舉ッテ居ラナイモノデモ優秀ナモノモアリマセウ、アリマセウガ、是ハ調査ガ完了次第更ニ漸次追加シテ行クノデアルト云フノデアリマスカラシテ、將來矢張此度ノ案ト同様ナ案モ出テ來ルモノデアラウト信ズルノデアリマス、故ニ此點カラ申シマシテモ、何等差支ナキコトデアリ、今御述ニナリマシタヤウナ、唯其日々暮シデアアル、將來ノコトハ知ラズト云フヤウナコトヲ申サレタヤウデアリマスルガ、私ガ今迄ノ委員會ノ記録ヲ全部通讀致シマシタ所ニ依リマシテモ、斯様ナ記載ハナイ、寧ろ反對ニ將來トテモ調査ガ終リ次第必要ナルモノハ、本案ノ如キモノヲ提案セラルベキコトガデアラウ、追加サルベキ他ニ優秀ナルモノガ將來出テ來ルデアラウ、斯ウ云

フコトヲ明ニ速記ニ留メラレテ居ル形跡モアリマスルカラシテ、所謂其日暮シト云フヤウナコトハナク、定ッテ方針ニ依リ、其一部分ガ既ニ調査モ出來タカラ今回追加サルノデアアル、斯ウ云フ趣旨ト認メマスガ故ニ、政府ノ原案ヲ總テ適當ナルモノト認メマス、隨ヒマシテ只今申サレマシタ警告、此文章ノ中ニハ「建設ノ順序等ニ付政府當局ノ措置遺憾ノ廉、勘ナカラス」斯様ナ文字ヲ見マスルガ、別ニ私等トシテハ遺憾ナ點ハナシ、或ハ其警告ノ中ニハ敷設法ノ變更ニ付テハ云々ト云フヤウナコトモ仰セラレマシタガ、決シテ敷設法ノ根本ノ變更デハナイ、唯加ヘテ之ヲ一層完全ナルモノニスル、斯ウ云フノデアリマスガ故ニ、警告文ノ警告デハアリマスルガ、此文字等ニモ聊カ穩カナラヌ所モアリマスルガ故ニ、此警告ニ付テハ反對致サントスル者デアリマス、結論ニ於テハ全部贊成デアリマス

○栗林委員 若宮サンニ一應御尋致シマスガ、只今御述ニナリマシタモノハ、敷設法ノ將來ニ於ケル御注意及建設ニ於ケル將來ノ御注意ト聞受ケマシテ、敷設法ノ變更ニ付テハ將來周到ナル調査ヲ遂ゲテ、又建設ハ緩急輕重ヲ圖ッテ誤リナイヤウニ注意ヲ望ムト云フ警告ト承リマシタ、ソレニ相違アリマセヌカ

○若宮委員 簡單ニ申セバ其通りノ趣

旨ニ外ナラナイノデアリマス

○栗林委員 然ラバ當然ノ御警告ト思ヒマス、賛成致シマス

○前田委員長 サウシマスト採決シマスガ、若宮君ノ此警告ハ定規ノ賛成モアリマスガ、之ヲ決ヲ採ツテ宜シイノデスカ、若宮君、サウ云フ御趣旨デスカ

○若宮委員 サウデス、其通り

○前田委員長 サウ云フ警告ニ付テ——本案ヲ皆賛成デセウカ、本案ニ付テ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○前田委員長 本案ニ付テハ多數デ可決致シマシタ、ソレニ付テ警告ガアリマスガ、警告ニ付テハ如何デアリマスカ、賛成ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス

〔賛成者 舉手〕

○前田委員長 多數、警告ハ多數デ可決致シマシタ、是デ鐵道敷設法ハ可決致シタ次第デアリマス、續イテマダ此委員會ニ付託サレテ居ルノガ一件アルノデアリマス、大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)佐々木平次郎君外十五名提出ノ案ガゴザイマスガ、今日之ヲヤリマスカ

○栗林委員 只今御諮リニナリマシタ此北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件ハ續イテ質問ダケ御願ヒシタイ、是ハ各派一致ノ案デ議論モナイノデスカラ、今日質問ダケシテ貰ヒタイ  
○前田委員長 引續イテ矢張大正九年

法律第五十六號中改正法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)ヲ議題トシテ質問ニ移リマス——只今議題ニ致シマシタガ、所管ノ内務省ノ政府委員ガ出席致シテ居リマセヌカラ此程度デ散會致シマス  
午後二時二十一分散會

第五類第六號

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

株式會社(政府提出)外一件委員會議錄

第七回

昭和二年三月七日

六

昭和二年三月八日印刷

昭和二年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社